

第1回報告

1回目は9人が参加しました

百里基地反対闘争とは

7月23日(水)に百里公民館で、「百里を語る会」が行われ9人が参加しました。この学習会は、百里基地反対闘争の歴史的事実を広く深く当時の日本さらには世界情勢の中で確認することと、その闘争の意義を検証し今後の百里基地反対運動さらには平和運動につなげていこうと開始したものです。



1回目となる今回は、伊達郷右衛門さんが講師となって、百里基地反対闘争の全般、参加者と共に自由に語り合いました。伊達さんは、「基地百里」「百里原農民の歴史」等の「百里」の歴史がわかる書籍を紹介しつつ、県労連の記念誌などのコピーを資料として、百里基地反対闘争を当時の社会情勢と関連づけつつ、その全体像を紹介してくれました。例えば、百里への誘致が表面化した1955年は、前年に自衛隊が発足する中で、保守合同、社会党の再統一、日本共産党の方針転換など、55年体制が確立した年であり、百里闘争を読み解く鍵がここにあるという指摘もありました。また、百里の開拓の歴史、神ノ池基地闘争なども話題になりました。

「百里を語る会」は今後も月1回程度のペースで開催することになりました。次回は、8月23日(火)の10時から12時、百里公民館で行います。引き続き伊達さんに講師を依頼し、百里闘争の前史である戦前戦後の百里、神ノ池基地反対闘争等を取り上げる予定です。